

2016.4.15

2016年タイ・ステークホルダーエンゲージメントプログラム開催に向けて
～持続可能な健康的で幸せな組織の実現を目指して～

各 位

大変お世話になっております。

ここ最近多くのグローバル企業では、これまでのビジネスのやり方がステークホルダーから認められなくなってきていることに危機感を覚えています。そして、世界の至るところで差別や不平等といった格差社会を原因とする潜在的な課題が頻繁に勃発していることは、将来の先行きに不透明や不確かさが増してきている証しです。

おそらく次のステージいくための道筋が見えなくなっているのでは、ないでしょうか？

こうした状況下、世界の工場となりつつあるアジア地域から欧米市場へ輸出していく中で、欧米諸国がどういったテーマが議論されているのかを知らなければ、ビジネスの機会を逃すことに成りかねません。昨年イギリス政府は **Modern Slavery Act 2015** を採択し、フランスでも責任あるサプライチェーンマネジメントをすることが国策として自国の企業に強く求められています。この世界の歴史が大きく変わろうとしている渦中にいる我々は、現時点で何をすべきかその真意を捉え、考え、行動に移していかなくてはなりません。

そこで、経済人コー円卓会議（CRT）は、MARIO5 と共同で、CRT が 2012 年から日本で多くの企業、NGO・NPO 団体、有識者の方々と取り組んできました「ステークホルダーエンゲージメントプログラム」を今年からタイで 6～8 月に実施します。このプログラムは、これまで日本で行われてきました枠組みを踏襲する格好で、進めていきますが、当然タイの文化や生活習慣（商習慣を含む）を尊重します。特に、タイでは、働く従業員やその家族、そして地域社会の人々の健康と幸せの実現という視点は大事になってくると考えています。

私は、今後サプライチェーンマネジメントのあり方を考えていく上で、いかにして欧米的な性悪説ではなく、アジア的な性善説を重んじた取り組みを根底とした対話的なアプローチ手法で、プラットフォームを構築していくことを不可欠だと考えています。

是非、タイと日本でこれまで培われた信頼をもとに、お互いの価値を共創する社会を連携していきたいと思っておりますので、ご協力を御願いたします。

CRT 日本委員会 専務理事兼事務局長
石田 寛

<ご案内>

タイ・ステークホルダーエンゲージメントプログラム開催に向けて（案）
～持続可能な健康的で幸せな組織の実現を目指して～

1. 開催形式

主催：CRT 日本委員会、MARIMO5

後援：在タイ日本国大使館、タイ国立行政開発研究院（NIDA）、

2. 参加されるメンバー

タイ・日本企業、タイ・日本政府、タイ・国際 NGO 団体、その他有識者の方々など

3. 開催時期

1) NGO/NPO、有識者からの問題提起

業界毎に重要な人権課題の特定・見直し

6月7日

2) マルチステークホルダーでの議論

6月28日

3) タイでの報告会

8月30日

4. 開催場所

・タイ・バンコク市内の会場を予定

5. 拠り所

国連の「ビジネスと人権に関する原則（UN Guiding Principles on Business and Human Rights）」が定義する人権デューデリジェンス

6. 取り組みステップ

1) NGO/NPO、有識者からの問題提起

企業からの参加者は、NGO/NPO 及び有識者より、企業活動を通じて侵害されうる人権状況とその背景についての説明を受けます。

2) 業界毎に重要な人権課題の特定・見直し

UNEP FI（国連環境計画金融イニシアティブ）が策定した人権ガイドンスツールを参考にしながらタイ文化や生活習慣を盛り込んで、業界毎に重要な人権課題を特定・見直しを図る。

3) マルチステークホルダーでの議論

参加者は議論内容を取り纏めて NGO/NPO 及び有識者間でダイアログを行います。ダイアログ後に参加者は NGO/NPO 及び有識者から受けたコメントを再度検討し、業界毎に最終版を取り纏めます。

事務局は、全業界の最終版を取り纏め、「業界毎に重要な人権課題（案）」を策定します。

- 4) パブリックコメント
事務局は、案文をある期間にパブリックコメントを実施し、寄せられた意見を集約します。
7. 参加費
この参加費 A, B とともにワークショップへの参加、参加者リストへの掲載ができます。
- 1) 参加費 A : 無料
 - 2) 参加費 B : 30万円 (税別)
 - ・参加費 B は、ワークショップ報告書などへのロゴ掲載
 - ・自社の CSR 報告書や WEB などへの記事掲載については、参加費 A は簡易版、参加費 B は完全版となります。
8. 参加締切と応募方法
参加応募の締切については、2016年5月25日(水)です。
なお、ご参加をご希望される方は、以下リンクにお進みください。
<https://business.form-mailer.jp/fms/cba85b1a55633>
9. 使用言語
基本的には、タイ語と日本語ですが、世界に向けて情報を発信する際には、英語で対応します。
10. お問い合わせ先
CRT 日本委員会 石田 hiroshi_ishida@crt-japan.jp
CRT 日本委員会 高橋 saul_takahashi@crt-japan.jp

以上